

平成 23 年度和歌山県工業技術センター 企業ニーズ調査報告書（簡易版）

1. はじめに

中期経営計画に基づき、平成 22 年度からセンター全体の取組として企業ニーズ調査を開始した。

本報告書は、平成 23 年度に行なった企業ニーズ調査の結果をまとめたものであって、工業技術センターの業務の方向性を定めるのに活用する。

3. 調査方法

(1) 調査対象企業

調査対象企業の属性は、下表に示すとおりである。

○業種別

業種	調査企業数
01:一般機械	19
02:精密機械・金属	13
03:電気・電子	6
04:化学	17
05:情報通信	4
06:繊維・衣料	23
07:家庭用品・和雑貨	13
08:漆器	7
09:家具	5
11:皮革	1
12:食料・飲料	26
13:製菓	14
14:その他	12
合計	160

○地域別

地域（振興局）	調査企業数
海草振興局管内	90
那賀振興局管内	12
伊都振興局管内	23
有田振興局管内	16
日高振興局管内	9
西牟婁振興局管内	8
東牟婁振興局管内	2
合計	160

○従業員数別

従業員数	調査企業数
20以下	59
21～50	31
51～100	26
101～200	20
201～300	10
301以上	8
不明	6
合計	160

(2) 調査期間

平成23年6月22日～9月30日

(3) 調査方式

各産業部が支援対象とする業種の企業に対して聞き取り調査した。

(4) 調査項目

①解決したい技術的課題 ②課題解決の時期的目安 ③センターに期待すること

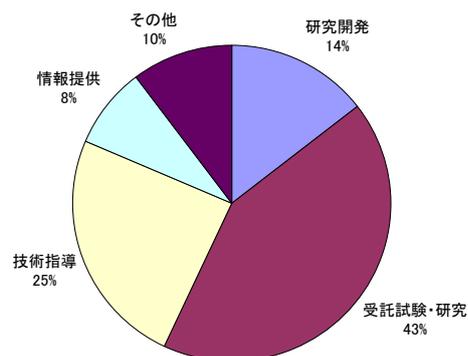
4. 調査結果

期待される業務を分類すると、受託試験・受託研究の割合が非常に大きい。現状の生産活動に対する支援が重要である。

一方、結果から研究開発投資も必要である。

なお、この割合は、産業分野ごとに傾向が異なる。

以下、産業部別にニーズが多いものを列挙する。



(1) 食品産業部

- ・食品加工 果実加工、粉砕加工等
- ・保存技術 衛生管理、フリーズドライ、あんぽ柿等
- ・感性価値 食感、色、香り等
- ・醸造技術 優良酵母分離、酵母育種

(2) 生活・環境産業部

- ・機能性 風合い、保温性、抗菌性、撥水性等
- ・品質管理 不具合原因探索、予防措置等
- ・産業資材 パイル生地の使用開発等
- ・塗装技術 漆器、特殊塗料等
- ・分析評価 有害物の分析、材料の物性、水質分析等
- ・強度耐久 家具・建具等
- ・その他 生産設備関連、排水関連、複合材料関連

(3) 機械金属産業部

- ・金属試験分析 材料試験、表面分析、組成分析等
- ・光造形 高強度化等
- ・腐食・防食 材料選択、腐食評価
- ・非破壊検査 産業用 CT スキャナ
- ・自動化、 製造工程、検査工程
- ・その他 デジタル化、品質管理、工程管理

(4) 化学産業部

- ・環境調和型 再生可能資源、触媒反応、マイクロリアクター等
- ・金属の微量分析 電子材料の原料、医薬品の原料
- ・ポリマー化 ポリマー化、物性評価
- ・ナノ技術 TEM の利用

(5) 電子産業部

- ・有機太陽電池 原料開発、素子化、性能評価
- ・画像処理 検査装置、分別装置等の自動化
- ・装置開発 制御関係
- ・電磁波 耐ノイズ性能

(6) 薬事産業部

- ・薬事法規制対応 自社規格の設定、承認申請、製品評価
- ・分析方法 企業内で実施するもの
- ・薬用植物利用 化粧品、入浴剤
- ・蚊取線香 代替原料探索、煙の数値化、品質管理
- ・樹木抽出物 ヒノキチオール、コウヤマキ

5. 産業部間の連携

業界を担当する産業部と異なる技術を有する他の産業部が対応することが効果的なもの

- ・食品の物性測定 食品産業部→生活環境産業部
- ・食品加工機の改良 食品産業部→機械金属産業部
- ・有害物の分析 生活環境産業部→化学産業部
- ・編機改良 生活環境産業部→機械金属産業部
- ・塗料のデータベース化 生活環境産業部→化学産業部
- ・複合材料の各種検討 生活環境産業部→機械金属産業部
- ・太陽電池等 化学産業部⇔電子産業部
- ・ポリマー化材料評価 化学産業部→生活環境産業部
- ・画像処理利用装置開発 電子産業部→機械金属産業部
- ・製造設備の機械化 薬事産業部→機械金属産業部

6. まとめ

- (1) 調査の結果、各産業部に要求される支援の技術内容が明らかになった。この結果に基づいて、今後の各部の重点目標と実行計画を定める。
- (2) 産業部間で連携が必要なニーズの取り扱いについては、部間協議のうえ方針を決定し、産業部間にまたがるニーズに対応する。